

Classi プロダクト方針

2025-2026

Our Mission

子どもの無限の可能性を解き放ち、
学びの形を進化させる



この資料の取り扱いについて

本資料では、Classiのプロダクトに関する計画や今後の開発についての記述が含まれます。

この記述は2025年3月18日の状況をもとに作成したものであり、予告なく変更する場合があります。

目次

- p.2 はじめに
- p.3 2024年度 主な機能リリース・改善
- p.4 節目の定着から日々の定着へ より日常的な学習をサポート
- p.6 先生の業務負荷軽減につながる学校全体でのより効率的なICT活用へ
- p.8 連携サービスで「働き方改革の推進」「個別最適な学びの実現」へ

はじめに

先生とともに、学びから学ぶ仕組みをつくり、 ワクワクする子どもを増やします

「勉強をがんばりたい。でも何からすれば良いかわからない」

「苦手意識から、前向きに勉強に向かえず、授業についていけない」

そんな生徒が、1歩を踏み出す、またそこから自分自身で学びを進めていくきっかけを、どのように作るか。

「多様化・多層化が進む中、一律ではなく、生徒個々にあった指導の必要性が増している」

「働き方改革の中で時間は限られる、生徒1人ひとりと向き合う時間を簡単には作れない」

そんな先生方が、より効果的・効率的に生徒に向き合うことができるように、学習・ICT活用の両面でどう支援できるか。

Classiでは”先生とともに、生徒の心に火をつける”そのためにできる支援は何かを考え、機能の改善を進めております。

本資料では、2024年度に行ったリリースのご報告と、今後に向けて現在検討を進めている内容をご案内します。

学校教育×ICTで生み出せる価値を追求してまいりますので、ぜひご期待ください。



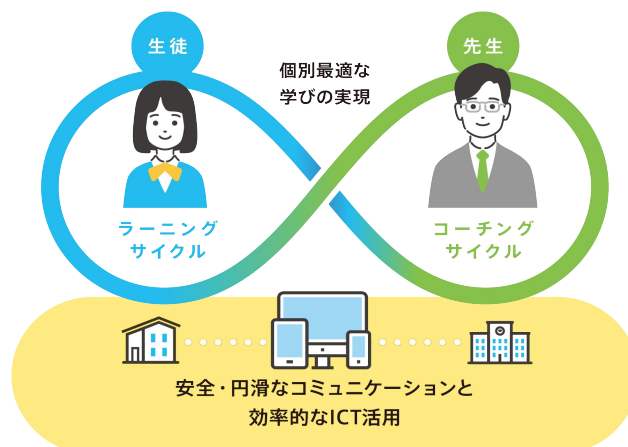
2025年度は・・・

生徒の学びを支援する学習領域

”学習内容の定着”や
”学びの自走化”につなげていくために、
より日常的な学習のサポートを強化します。

学校全体でのICT活用領域

生徒の成長・学びを支援する時間の創出に向け、
既存機能の利便性向上と新機能の追加で
先生の業務負荷軽減に貢献します。



2024年度 主な機能リリース・改善

2024年度は、62件(※)の機能リリース・改善を行いました。
その中から、主なリリースを抜粋してご紹介します。

※2024年4月から2025年3月までの、
機能・コンテンツ追加／改善・改修を対象としています

詳細を知りたい時は[チエノワ>リリース情報]へ



Classi チエノワ 検索

<https://chienowa.classi.co.jp/hc/ja>

個別最適なおすめ
をきっかけとした
自律的な学習支援



生徒自身で学びを進める「学びの自走化」のサポート

- ・課題学習機能・自主学習機能において、「動画」視聴機能を追加
- ・ベネッセのテスト結果に応じた問題配信機能「ベネッセテスト成績連動課題配信」の追加
- ・「成績連動課題」の課題完了後、自主学習(ベネッセテストまとめ)画面へ遷移できるように改善
- ・学習のポイント・ヒントつきで「できた!」をつみあげられる「マナトレ対応テスト」の追加



学習トレーニング

生徒の取り組みやすさの改善

- ・課題学習のテスト解答において、解答途中のデータを復元できるように改修
- ・生徒のテスト課題において、今何問題かわかるように改善
- ・生徒の課題一覧画面に、課題ごとの取り組み目安時間(問題数)の表示を追加し、課題を選びやすく

取り組み状況確認画面で生徒の状況を見取りやすく

- ・複数の課題を横断し、クラス単位で完了・未完了を確認できる「課題学習取り組み状況」画面を追加
- ・生徒の取り組み状況確認画面(自主学習・課題学習)の改善(全体概況の追加や画面への表示項目の追加等)

コンテンツの追加

- ・課題配信機能に数学B「統計的な推測」、数学C「平面上の曲線」「複素数平面」のテストを追加
- ・高校範囲理科・地歴(「地学」「科学と人間生活」除く)問題を追加完了(課題配信・自主学習ドリルのみ)
- ・課題配信機能に学力推移調査とあわせて活用しやすい実践形式のテストを追加

円滑な
校内コミュニケーション
のサポート



学習記録

- ・未入力者だけでなく、「入力済み生徒」「未入力+入力済みの生徒」にメッセージを一括送信できるように改修



カレンダー

- ・「当日の連絡事項」で投稿可能な文字数の上限を2,000文字から10,000文字に変更



校内グループ

- ・各投稿に対する「既読」状況を確認できるように



欠席連絡

- ・学校側で確認済みであることを手軽に保護者へ示せるように受付確認機能を利用可能に



- ・「学校からのお知らせ」を一定期間アプリトップ画面に表示し、生徒が見逃さないように改善
- ・アプリトップ画面の機能アイコンを並び替え可能に
- ・アカウントごとにアプリのテーマカラーを変更可能に(複数アカウント切り替え時にもわかりやすく)

校内での
ICT活用の促進、
負担軽減



設定・登録

- ・生徒情報エクセル上で「保護者のホームアプリの最終ログイン日時」を確認できるように
- ・先生情報画面において、利用停止中の先生を表示する／しないを切り替えて検索可能に
- ・生徒カルテへの定期考査・その他テストのアップロード手順を簡易化(設定・登録でのテスト結果データの登録・検索がしやすくなるように改修)



アンケート

- ・アンケート配信時、配信先の校内グループが未作成の場合に、簡単に作成画面に行けるように配信条件設定画面から校内グループ作成画面に遷移可能に
- ・複数のアンケート回答結果をまとめて、推移を確認できる機能を追加
- ・「振り返りアンケート」回答データのポートフォリオ機能への連携処理を改善(日次の一括連携へ)



連携サービス

- ・設定・登録からナビゲーション連携の作業後、Classiからナビゲーションへ追加のログイン作業なしに遷移可能に



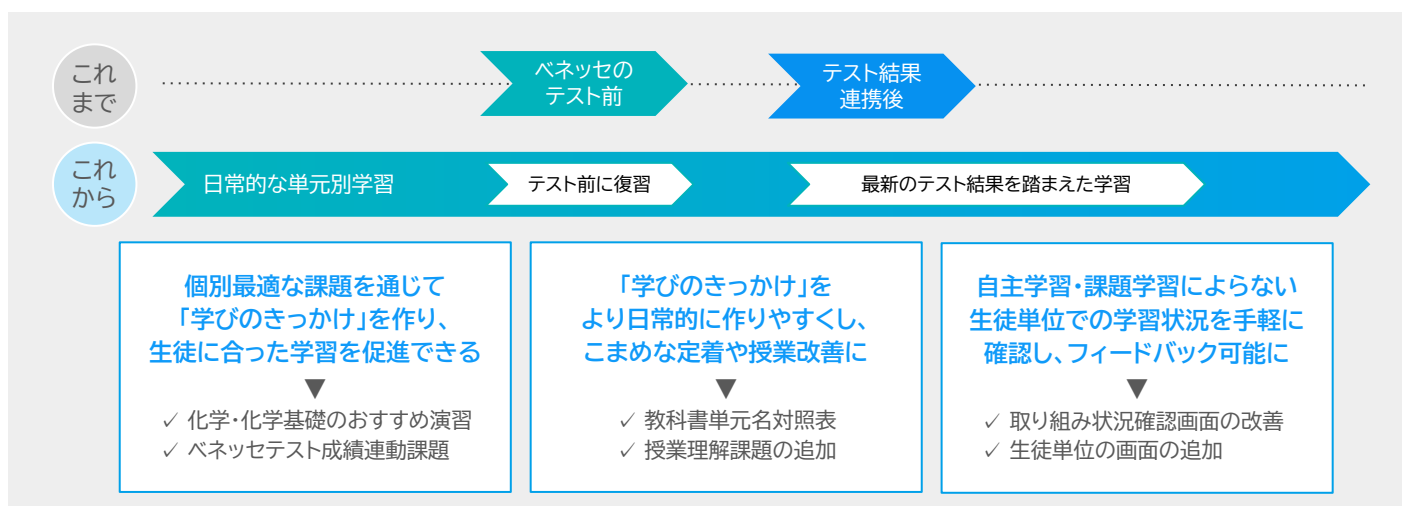
学習記録

- ・CSVダウンロード(明細)における出力データ様式を改訂

節目の定着から日々の定着へ より日常的な学習をサポート

生徒自らの進路実現のための「学びに向かう一歩」を個別最適に後押しするべく、先生・生徒のみなさまからいただく声をもとに、「学習トレーニング」の改善を進めています。

単元の定着度を上げるための問題演習を中心とした学習体験を提供していますが、ベネッセのテストの前後といった節目での学習だけでなく、より日常的に単元別学習や個別最適な学習に取り組めるように強化し、“学習内容の定着”や“学びの自走化”につなげていけるようにサポートします。



▼個別最適な課題を通じて「学びのきっかけ」を作り、生徒に合った学習を促進

学習トレーニング | テスト課題(単元から探す・ベネッセテストから探す)

AIが出題する「おすすめ演習」への対応範囲を「化学」「化学基礎」まで拡大【2025年度春頃予定】

準備中

単元の終了時やベネッセのテスト前に活用できるテスト課題では、解答状況をもとにAIが問題を出題する「おすすめ演習」に取り組むことができ、先生による「全体の定着状況を把握」と配信をきっかけとした「個別最適な学習」につなげられます。**化学・化学基礎でも、「おすすめ演習」を活用した個別最適な学習が可能になります。**

※2025年3月現在、おすすめ演習は国語(古文文法・漢文句法)・数学・英語(文法)に対応しています。実践形式のテストやマナトレ対応テストは対象外です。

学習トレーニング | ベネッセテスト成績連動課題(対応教科:国語・数学・英語)

ベネッセのテスト結果や生徒個々の目標をもとに、生徒に合った課題を配信し、学習を促す

リリース済

教科と問題数を指定するだけで、誰でも簡単に個別最適な課題を配信できます。「直近3回のテスト結果と目標GTZをもとにした生徒に合わせた出題になる」「問題数を少なめに指定し、朝学習で少しずつ取り組むこともできる」ので、**テスト後の学習のきっかけ作りや、より日常的な生徒個別の単元補強に活用可能です。**

連携対象のベネッセのテスト

- スタディーサポート
- 基礎力診断テスト
- ベネッセ総合学力テスト/進研模試(2-2,3-6,3-9)
- 学力推移調査(中1第1回除く)



▼「学びのきっかけ」をより日常的に作りやすくし、学習内容のこまめな定着や授業改善に

学習トレーニング | ご活用に向けての先生向け資料

教科書単元名対照表の提供で授業進度に沿った活用をしやすい【2025年4月末頃 提供開始予定】

準備中

一部の高等学校教科書について「教科書名および教科書単元名」と学習トレーニング上のコンテンツとの対照表を資料として提供し、授業進度に沿ってテストや問題を利用しやすくなります(対応する教科書名は、2025年4月より詳細を公表予定)。

▼対応教科

5教科 11科目 に対応予定！

数学(数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B)／
英語(英語コミュニケーションⅠ、論理・表現Ⅰ)／
理科(物理基礎、化学基礎、生物基礎)／
地歴(地理総合)／情報(情報Ⅰ)

▼対照表のイメージ

教科書の 目次	学習トレーニング上の テスト課題	学習トレーニングに おける単元名

※あくまで教科書の単元名(目次)と既存の学習トレーニングコンテンツとの対照表となり、教科書本文をそのまま利用したコンテンツとの紐づけではありません。また、英語については、単元名との対応となり、テストとの対応はございません。

学習トレーニング | 授業理解課題(対応教科: <高校>国語・数学・英語・理科・地歴 <中学>国語・数学・英語)

より細かく、授業にフィットした配信で、単元ごとの生徒のつまずきを発見・補強【2025年度上旬予定】

準備中

▼「授業理解課題」配信画面・確認画面のイメージ

動画と問題を
セットで配信

小単元より細かな学習項目単位
で必要なものに絞って配信可能

学習項目ごとに
正答率を確認

学習項目	完了人数	正答率
全体	3/10人(10%)	75%
学習項目別		
小単元: S+V		
学習項目	完了人数	正答率
定義	10人	14%
例文	6人	79%
練習問題	4人	96%
確認問題	3人	8%

「授業で扱った内容の理解度をこまめに確認したい」
「1回の授業だけでは理解が追いつかない生徒をフォローし、クラス全体の理解度を上げていきたい」
という声を受けて、新たに授業理解課題を追加します。

動画をヒントに問題に取り
組んで、自分のペースで理
解を深めることができた！

細かな単位で正答率を確認し、
理解状況を把握できるので、
次回の授業にも活かせる！

※動画は課題の完了には含めず、任意で視聴できる形です。学習項目によっては、動画と問題がセットとならず、問題のみとなる場合がございます。授業理解課題は「おすすめ演習」には対応していません。画像は現在検討中のイメージです。変更になる可能性がございます。

▼自主学習・課題学習によらない生徒単位での学習状況を、手軽に確認し、フィードバック可能に

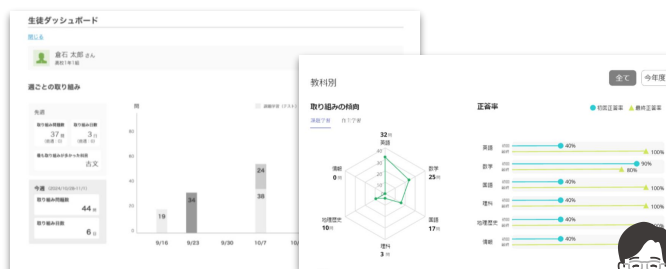
学習トレーニング | 生徒の取り組み状況

生徒の状態把握から個別のフォローアップにつなげやすい取り組み状況確認画面へ【時期未定】

検討中

学習量の変化や、生徒単位での週別や教科別の取り組み状況を確認できるような改善を検討しています。

全体状況画面に、先週-
先々週比での学習量の
変化の表示を追加



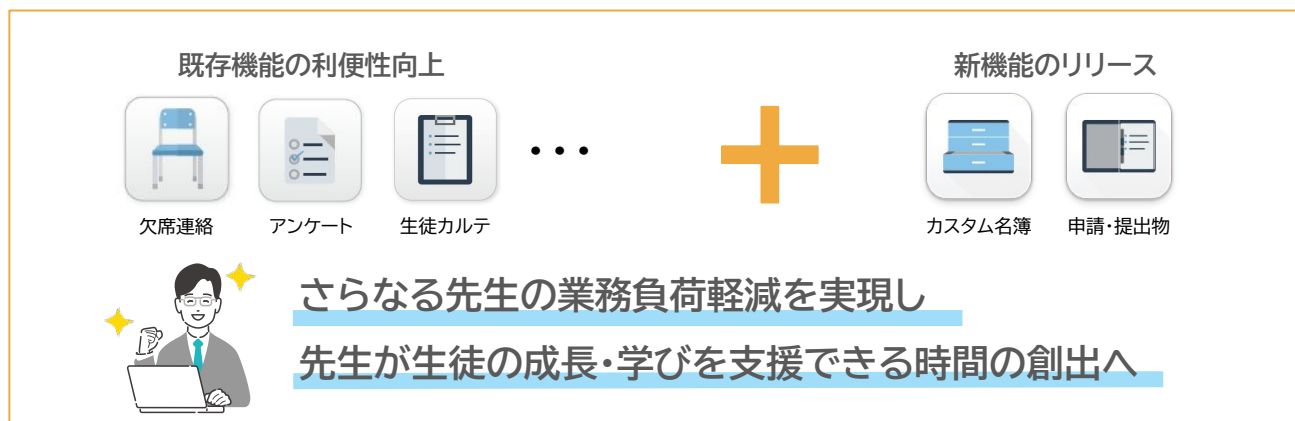
生徒単位で全体での学習状況を確認できるの
で、生徒のがんばりや、つまずきを見つけやすい

※画像はイメージです。現在検討中のため、画面・内容は変更する可能性があります。現時点ではリリース時期は未定、段階的なリリースとなる可能性がございます。

先生の業務負荷軽減につながる学校全体でのより効率的なICT活用へ

学校現場で大きく叫ばれている「先生の働き方改革・校務効率化」に対して、2024年4月以降、アンケート/学習記録/校内グループ/欠席連絡/設定・登録などの機能改修により、利便性向上から先生方の業務効率化につながるようなリリースを積み重ねてきました。

2025年度は「申請・提出物」「カスタム名簿」という新機能のリリースを予定しており、今後もこの動きを止めることなく、学校全体でのより効率的なICT活用を支援してまいります。



▼2025年度 既存機能改修予定の一例



欠席連絡

欠席理由項目について、学校側でのカスタマイズを可能にする【2025年度中】

The screenshot shows the '欠席連絡' (Absence Contact) form. The '理由' (Reason) field is highlighted with a blue box, showing a dropdown menu with various options: '選択してください' (Please select), '病気 (発熱)' (Sickness (fever)), '病気 (頭痛)' (Sickness (headache)), '病気 (かぜ症状)' (Sickness (cold symptoms)), '病気 (下痢・嘔吐)' (Sickness (diarrhea/vomiting)), '病気 (嘔気・嘔吐)' (Sickness (nausea/vomiting)), '病気 (発疹)' (Sickness (rash)), '病気 (インフルエンザ様症状)' (Sickness (influenza-like symptoms)), '病気 (その他)' (Sickness (other)), '通院' (Hospital visit), and '体調不良' (Poor health). The '登録する' (Register) button is at the bottom right.

保護者からは「出席停止」の項目を選択できないように学校側で設定したい

「体調不良」よりも、さらに細分化した内容で、理由を選択できるようにしてほしい

利用中の校務支援システム上で管理する欠席理由名に揃える形で、項目変更・追加をしたい

など・・・
先生方からいただく声をもとに検討を進めています。



その他にも、欠席連絡機能の閲覧権限設定、操作権限設定の改修等を検討しております。

リリース済みの機能もぜひご利用ください！

The screenshots show the '欠席連絡' (Absence Contact) and '保護者画面' (Parent Screen) interfaces. The '欠席連絡' screen shows the '確認済' (Confirmed) status. The '保護者画面' screen shows the '確認済' (Confirmed) status. A callout box shows the '確認済' (Confirmed) status for the date 2024/11/08 (金) with the reason '病気 (発熱)' (Sickness (fever)).

欠席連絡で、
学校側で確認済みであることを手軽に保護者へ示せる、
受付確認機能が利用可能になりました。

朝の忙しい時間帯でも先生がボタン押下で簡単に「確認済み」であることを保護者に伝えることができ、保護者の安心感と先生の業務負荷軽減につながります。

※ご利用の際は欠席連絡の設定画面から「有効」に変更する必要があります。

▼提出物のペーパーレス化と名簿反映の自動化で業務負担を軽減

2025年度より全校向けに提供を開始する「申請・提出物」機能と「カスタム名簿」機能は、ご家庭から生徒の情報を収集し、生徒情報の一元管理を行うことができる機能です。

- 「申請・提出物」機能では、学校の様式に合わせて申請・提出フォームを作成・公開することで、生徒・保護者がいつでも必要な申請を行うことができ、さらに保護者記名(確認)が必要な提出物の収集もできます。
- 「カスタム名簿」機能では、提出された最新の情報を生徒名簿で確認することができます。

これらの機能で、先生をはじめ学校教育に携わるみなさまの業務効率化を支援します。



従来の学校現場の課題



今後の予定 (Future Plans)



先生の権限設定のカスタマイズが可能になります



先生の役割や申請・提出フォームごとに、閲覧・編集・管理・承認等の権限を柔軟に設定できるようになります。



家庭ごとに異なる文書を配付可能になります (※B版として提供予定)

領収書や通知表など家庭ごとに異なる個別文書データをClassiにアップロードするだけ



連携サービスで「働き方改革の推進」「個別最適な学びの実現」へ

学校課題や先生のお悩みに合わせて、連携するさまざまなパートナー企業のサービスをご利用いただけます。
Classiと併用しながらの、働き方改革と個別最適な学びの両立をご支援します。



- 「どんな授業でも、学び合える」をサポートする授業支援クラウド
- 一斉・個別・協働などあらゆる学びがこれ1つで実現！

特長

①リアルタイムに学習過程を把握

生徒が書いている回答を、提出の有無に関係なくリアルタイムに把握。最適なタイミングで、最適なアドバイスや添削を実現。

②学習データを瞬時に可視化

ワードクラウド機能や交流マップ機能で生徒の活動状況や回答の全体像を把握し、効率的な授業展開を実現。

③業務効率化を実現

約9,000点以上の課題テンプレートからポートフォリオ、ループリックなど、充実の評価に関する機能を搭載。



- 定期考査・日々の小テストで負担のかかっている採点業務をデジタル化
- 採点結果は、Classi「生徒カルテ」上に蓄積され指導に活かしやすい

特長

①採点可能なテスト形式の拡大

普通紙を用いて「マーク式」の答案も対応可能に！幅広いテスト形式に対応。
(4月中旬以降リリース予定)

②「生徒カルテ」連携でWeb返却

Classiの「生徒カルテ」から返却することで、生徒の振り返りや保護者閲覧などがいつでもできる。

③採点業務の時短・効率アップ

採点時間・期間の圧縮や、印刷費の削減で業務効率化。

その他にも、外部人材活用サービス等の連携サービスもございます。詳細は、Classiトップ画面の連携サービスよりご確認ください。

Classiでは、先生方の活用支援のサポートも強化しております

■ 先生のための活用支援サイト「チエノワ」

活用する上で必要な情報が集約されているサイトです。
管理責任者の先生をはじめ、Classiをご利用いただく先生方のために、スムーズなご利用に向けた準備や計画、おさえておきたい活用のポイントなどをまとめています。
<https://chienowa.classi.co.jp/hc/ja>



■ Classiヘルプページ

知りたいことやわからないことをキーワードで検索したり、機能ごとに調べることができます。
先生だけでなく、生徒・保護者のみなさまもご利用いただけます。

<https://support.classi.jp/hc/ja>



解決しなければ
フォームで
お問い合わせ可能！

この記事は役に立ちましたか？

はい いいえ

解決しなかった場合は、フォームよりお問い合わせください。

Classiサポートデスク

0120-755640 通話料無料

受付時間 | 月～金 8:00-19:00 土 8:00-17:00 (祝日、年末・年始を除く)